

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和7年第1回定例会

令和7年第1回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）		
通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1 番	（9）小野恵司	①DX の取組について ②機構改革について ③予防接種及び带状疱疹ワクチン等について ④大森町政について
2 番	（7）上瀬ひろみ	①空き家などの所有者に対する利活用の訴求と、町づくりの理念に対する意思疎通について
3 番	（2）宮田明彦	①大台町の備品や物品管理について ②出張遺跡など、日進地区や町内に点在する古墳時代以前の遺跡について ③令和6年度「みえ子ども・子育て応援総合補助金事業」に申請した事業について
4 番	（10）野村政美	①企業誘致について ②町道の整備について
5 番	（5）岸 良隆	①子どもが育つ大台町について ②保育園や小・中学校の情報発信について ③ごみ対策について

令和 7 年第 1 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	9 番	議員氏名	小野 恵司
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①DX の取組について		行政の DX 化については、住民サービスや、窓口作業の効率アップ及びコストの削減が期待出来る取組として、以前から必要性を訴えてまいりました。 例えば、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付が導入されれば、日本全国のコンビニエンスストア等で夜間、休日でも証明書を取得出来ますし、庁舎が遠い住民の方に対しても負担の軽減が図れます。 また、子育てや介護をはじめとする行政サービスの検索やオンライン申請が可能になれば、窓口の混雑が緩和され、お年寄りなどサポートが必要な方に、より丁寧に住民サービスを提供することが可能となります。 このように行政の全体的な DX 化が広がれば、住民サービスの向上や、業務の負担軽減・コスト軽減等が図れると考えます。そこで伺います。 (1) コンビニ交付やオンライン申請等の必要性に対する見解と、来年度の DX の取組について伺います。 (2) 自治体向けや教育・環境など様々な分野の DX 展示会が全国で開催されています。そういった所に、課単位ではなく町全体の取組として、10 人・20 人とたくさんの職員が行き、情報収集や意見交換などに積極的に参加するべきと考えるが、町の見解を伺います。			町長 戦略企画課長
②機構改革について		令和 6 年 4 月に組織構造の最適化と行政サービスの向上のために機構改革を行い 1 年が経過しようとしています。今回の機構改革の評価と課題について伺います。また、課題に対する改善策等、今後の取組について伺います。			町長 総務課長

令和 7 年第 1 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	9 番	議員氏名	小野 恵司
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
③予防接種及び帯状疱疹ワクチン等について		帯状疱疹は、50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに 3 人に 1 人が発症すると言われています。令和 6 年 12 月 18 日に開催された第 65 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において、帯状疱疹を予防接種法の B 類に位置付けるとし、帯状疱疹ワクチンの定期接種化が了承されました。 厚生労働省は、令和 7 年 4 月 1 日から 65 歳になった高齢者などを対象に帯状疱疹のワクチンの定期接種を始めるとしています。今回の定期接種の対象は原則 65 歳になった人などで、すでに 65 歳を超えている人については 5 年間の経過措置として 70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳の時に接種する機会を設ける方針であり、100 歳以上の人は定期接種の初年度となる来年度に限って全員を対象とする予定です。 町は現在 50 歳以上を対象者として、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を行っていますが、この制度を継続していくのかも含めて今後の対応を伺います。 (1) 令和 6 年 4 月から始まった、大台町独自の支援である「帯状疱疹予防接種費用助成金」の交付実績について伺います。また接種者の年代別がわかるのであれば合わせて伺います。 (2) 令和 7 年 4 月から始まる帯状疱疹ワクチン定期接種の制度の詳細を伺います。 (3) 町が独自で実施している帯状疱疹予防接種費用助成金制度の今後の対応を伺います。 (4) 帯状疱疹ワクチン以外で、予防接種に対する国の助成や制度に変更があるのか伺います。			町長 健康ほけん課長
④大森町政について		大森町政発足から早 7 年が経ち、残りの任期も 1 年を切りました。そこで、町長の公約の達成に向けた覚悟と今後の取組について伺うとともに、来期三期目への出馬の意向はあるのか伺います。			町長

令和7年第1回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	7 番	議員氏名	上瀬 ひろみ
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①空き家などの所有者に対する利活用の訴求と、町づくりの理念に対する意思疎通について		今後、大台町内の空き家・空き店舗・空き地・農地などは、相続などにより、町外に住んでいる方や一度も大台町に居住したことがない方が所有者となることが増えてくると予測されます。 (1) 空き家などの所有者に寄り添い、空き家などを利活用する決断を促すための施策や支援体制について、現状（効果と課題）について町が把握していることは何か伺います。 (2) 土地は個人の財産であることを含み置いたうえで、なお所有者（相続人）に対し、都市計画のような町づくりの将来像や土地利用の目安を示して、町づくりや地域活動に整合した土地の利活用を促すための施策を検討する必要があると考えますが、町の見解を伺います。 (3) 特に農地について、農地法や農振法で厳しく制限されているものの、耕作できない農地や転用が増えてくることなどが予測されます。このことについて、町の見解と準備されている対応策は何か伺います。			町長

令和7年第1回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①大台町の備品や物品管理について		税金で揃えられている備品や物品。その管理はどのようになっているのか。必要な物を適切な数を揃えて、適切に処分することが、税金を使わせてもらっている町民への必要最小限の配慮だと考える。そこで問う。 (1) 不要備品の処分については、今年度行なわれた領内地域総合センターと荻原出張所や、過去に行われた日進保育園と協和中学校で、実施方法が全て違っていた。備品処分の実施方法について、町としての規定はないのか。 (2) 領内地域総合センターと荻原出張所の不要備品の処分方法については、町民から不満の声を聞いている。実施方法や期間、町民への周知について何か問題はなかったか。 (3) 大台町会計規則では、備品は備品管理台帳に登録し管理することと規定しているが、ふれあい会館多目的広場、大台町町民体育館、荻原地区町民運動場の備品台帳は作成していないとのことである。これは、会計規則では、備品は10万円以上の物品と規定されていることによるものかと思われる。 しかし、運動施設で使われるコートブラシやライン引き、卓球台など施設として必要な物があるが、そのような物品は、どのように管理していくのか。 台帳が無いと点検も難しく、税金で購入した物品が壊れても気が付かなかったり、場合によっては紛失していても気が付かなかったりということもあり得る。この現状について、どのように考え、どうしていくのか。 (4) 令和6年第2回定例会で、運動施設の補修や備品・消耗品の補充への対応についての一般質問に対して、「月に1回定期的に消耗品や備品の状況を把握することにした」との答弁があった。 備品台帳が無いのに、何を基に状況を把握し、管理をしているのか。			町長 教育長

令和 7 年第 1 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		また、必要な物品の状況把握が、十分出来ているのか。			
②出張遺跡など、日進地区や町内に点在する古墳時代以前の遺跡について		昨年、町有形文化財に指定されたナイフ形石器などが出土した出張遺跡を初めとして、日進地区には多くの遺跡がある。 また、大井の下モ切遺跡、トロトロ石器の出土した神滝遺跡、天ヶ瀬の不動前遺跡、佐原の向林遺跡など、たくさんの遺跡が大台町にはある。 これらは貴重かつ誇れる文化遺産であり、適切な管理をし、町民はもちろん、地元の子どもたちに知らせていくべきではないかと考える。そこで問う。 (1) 有形文化財に指定された石器等が出土した出張遺跡周辺は、発掘当時は管理されて遺跡がよくわかる状態となっていたと聞くが、今は奥まったところにある看板しかなく、その存在はわかりにくい状態である。 発掘された礫群は、数では日本でも珍しいほど多数であるという。有形文化財に指定されたことで、礫群の扱いも含めて、今後文化財として、出張遺跡や出土品の保存に何か特別な配慮はされていくのか。 また、どのように管理していくのか。 (2) 日進地区には、古墳時代以前の遺物が 17 か所で発見されているとの話がある。これは、町民にとっては誇れる文化遺産であると考えられるが、その存在はほとんどの方が知らないように感じる。これだけ多くの遺跡があることを、町民に知らせていくべきであり、日進地区の文化遺産巡りマップなどを作って、一つの観光資源としていくことも考えられるのではないかと。町として、何か取り組むことはないか。			町長 教育長

令和7年第1回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		(3) 小学校で歴史を習う。有名な奈良の大仏や法隆寺も大切だが、地元には石器時代から人が住んでいたということは、歴史の勉強をするには、大きな財産であると思う。形として残っている北畠神社などは比較的学习に取り上げられているようには聞かぬが、形として見えないこのような遺跡は知られにくい。自分が住むこの場所で、石器時代の人々が暮らしていたなどは、子どもたちに大きな感動を与える。このような文化遺産は、町民はもちろん、子どもたちに知らせていくべきと考えるが、どのように考えるか。			
③令和6年度「みえ子ども・子育て応援総合補助金事業」に申請した事業について		令和6年度「みえ子ども・子育て応援総合補助金事業」で大台町が提出した四つの事業のうち、大台町B&G海洋センター遊具整備事業と社会科副読本「たんけん！はっけん！大台町」改訂の進捗状況と今後のスケジュールはどうなっているのか。 また、学童保育長期休業期間における食事提供事業は、学童利用保護者からは好評と聞いたが、その成果と今後の対応はどうなっていくのか。			町長 教育長

令和 7 年第 1 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	1 0 番	議員氏名	野村 政美
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①企業誘致について		(1) 町長施政方針に「企業誘致については、企業の投資環境の回復状況を見極めながら、企業立地セミナーへの参加や企業訪問などを通じて、本町の企業誘致や設備投資に係る税優遇制度などの優位性などを積極的に PR していく。」とあるが、具体的にはどのような取り組みをするのか。 (2) 令和 2 年度に「産業用地適地選定調査」を実施し、11 か所の候補地を選定しているが、その候補地は実際に誘致企業に求められるような用地なのか。 また、令和 2 年度の調査においては、農地を除外して選定したとのことであるが、誘致企業に求められる比較的安価な用地を確保するためには、農地も含め再度、候補地を選定すべきではないか。			町長
②町道の整備について		(1) 本年度、新たに「大台町道路整備計画」を策定し、町道の整備を計画しているがその目的は何か。 また、当該計画では、整備優先エリアとして新田、上楠、粟生、上三瀬、弥起井の 5 地区を選定した後、個別路線の選定を行っているが、選定の基準と結果はどうか。 (2) 当該計画は、どのような事業規模（事業量・事業費等）及びスケジュールで実施するのか。 また、財源については、どのように確保するのか。 (3) 当該計画により町道の整備をすることで、具体的にどのような効果（住宅地の供給・住宅着工数など）を期待しているのか。			町長

令和7年第1回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①子どもが育つ大台町について		(1) 令和6年度に注力する事業として、子どもが育つ大台町と述べられました。取り組んだものは何でしょうか。 (2) 子どもが育つ環境整備の一つとして公営の英語塾の開設を提案いたしますが、町長の考えをお伺いします。			町長
②保育園や小・中学校の情報発信について		保育園や小・中学校の事業には、大台町独自に取り組んでいるものがあると思います。そうした取り組みの外への情報発信力が弱いのではないですか。ましてや子育て世代の方が移住先を選ぶ際には、保育や学校教育の取組が一つのポイントになると思います。 情報発信について改善する必要があると思いますが、保育園や小・中学校の情報発信についてどうあるべきと考えていますか。また、今後の展望について伺います。			教育長
①ごみ対策について		(1) これまでのごみ減量化の取組と評価と課題について伺います。 (2) ごみ減量化の取組は、ごみ排出者一人ひとりの協力が不可欠です。課題に対する対策について伺います。			町長